平成３０年度　八代高等学校シラバス

教　科	家庭	科　目	家庭基礎	学　年	1	類　型	
単位数	2	教科書	家庭基礎　自立・共生・創造				
副教材	３０年度家庭科学習ノート						

学習目標	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族と社会との関わりについて理解させるとともに、市絵活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

学期	学習内容	学習の到達目標 （完全に理解すべき事項）	到達度自己評価 A　B　C
1学期	「家庭基礎」の学習の進め方 第１章１～６　自分らしい人生をつくる	・自分らしく生きるために、目標をもち、生活課題に対応した適切な意思決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解する。	□　□　□
	第６章５　布を用いた生活の知恵 ○実習「基礎縫い・被服製作」 「基礎縫い・刺し子のランチョンマット」	・直線ミシン、並縫い、まつり縫い、ボタン付け、スナップ付けを習得する。また技術を活用し、生活に役立つものを製作する。	□　□　□
	第８章４～６経済生活を営む	・契約や消費者信用、多重債務問題などに対し、消費者として適切な判断ができるようになる。	□　□　□
	第２章　子どもと共に育つ	・子どもの発達を支えるための親の役割や子育てを支援する環境を理解する。	□　□　□
	○実習「食物技術検定４級相当の力をつける」	・調理の基礎技術を身に付ける。	□　□　□
	○ホームプロジェクトの実施計画	・生活の課題を見出し、その解決を目指し、ホームプロジェクトに取り組む。	□　□　□
2学期	○ホームプロジェクト発表	・生活課題を見出し、その解決の手だてに取り組み、成果と課題を発表する。	□　□　□
	第３章　高齢社会を生きる	・高齢期の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解する。	□　□　□
	第４章　共に生き、共に支える	・共生社会の重要性を理解する。	□　□　□
	第５章　食生活をつくる ○実習「調理実習（和食、洋食、中華 「自立のための料理教室」）	・健康で安全な食生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。	□　□　□
	第６章　衣生活	・被服管理に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。	□　□　□
3学期	第７章　住生活	・安全で環境に配慮した住生活が営めるようになる。	□　□　□
	第８章　経済生活を営む 第９章　生活を設計する	・生涯を見通した生活における経済の管理や自己の生活について主体的に考えることができるようになる。	□　□　□
	○学校家庭クラブ活動 基礎縫いを利用したティッシュケース作り 雑巾作り	・環境負荷の少ない衣食住の生活の工夫を考える。	□　□　□

学習方法	授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにする。 各課題においては基本的には学校内で行う課題の提出については期限内に提出する。 実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全に、かつ協力して進める。

評価方法	各学期の期末考査において筆記試験を１００満点で作成し、５０～６０点に換算し、その学　期の提出物（授業における学習プリント、作品、ホームプロジェクト、学習態　度等）を加え、１００点満点とする。 学年成績は１学期から３学期までの評点を平均し、その評点によって５段階で評価する。